

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



世界の窓

Vol.63

イースター



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」！
案内役は、国際交流員のローラ・スタンリーさんとカレン・イートンさんです。

Hello!カレンです。皆さん「イースター」って何の日か知ってますか。卵のお祭り？それとも卵を食べる日？ 実はクリスチャンにとってイースターはとても大切な日なのです。

そこで、今回は「イースター」についてご紹介したいと思います。

空飛ぶトナカイが引くソリに乗って旅をしている陽気な赤い服を着たサンタクロースや、抜けた乳歯と引き替えに枕の下にコインを置いてくれる妖精、そして、チョコレートエッグ（卵をかたどったチョコレート）を運んでくれるウサギ。これらのことは私たちが子供の頃信じていたことです。色鮮やかなホイルで包まれた中が空洞のチョコレートの卵を持ってきてくれるこのウサギは、1年に1回だけやって来ます。この特別な行事をイースター（復活祭）といいます。



イースターは「春分の日後の最初の満月後の日曜日」に祝われるため、その年によって日にちが変わります。私は幼少のころイースターの週末に家族と一緒にニュージーランドの離島まで行っていたことを覚えています。金曜日と月曜日も祝日で四連休になるため、家族水入らずで遠出するには絶好の機会です。

イースター・バニー（復活祭のウサギ）はわたしたちが本土から遙か遠く離れた場所に居てもわたしたちを探すことができるかどうか、またどうやって海を渡ってわたしたちのところに来てくれるのか心配していたのを覚えています。イースター・バニーは自分の高速ボートでやって来るのか、海面を飛び跳ねて来るのかとても不思議でした。しかし、日曜日の朝起きてベッドの脇に置いてあるチョコ

レートエッグを見つけると、私はそれ以上は何も疑いませんでした。

西洋や東洋諸国の至る所で、人々はこの特別な時期を卵でお祝いします。卵をスプーンに載せてレースをしたり、自分の卵と相手の卵をぶつけて競い合う大会などのさまざまな卵のゲームが行なわれ



△イースター・バニー



ます。その活動の中で何年も続いていて人気があるのは、卵の殻を鮮やかな色に染めたり飾り付けをしたりする活動です。そしてその卵は、家の飾り付けに使ったり、イースター・バニーが運んできたり、

または、庭や家中のあちこちに隠して日曜日の朝に子供たちに探させる遊びに使ったりもします。

イースターエッグ（復活祭の卵）は再出発と新生活を象徴しています。それは、イースターの真の意義を表しています。イースターはキリスト教ではクリスマスより重要なお祝いです。2千年以上前に十字架にはりつけられて亡くなったイエス・キリストが3日後によみがえったことを記念する日です。クリスチャンの人々は、新たな希望や再び生命が甦る喜びを感じる日として大切にしています。多くのクリスチャンの人も、またクリスチャンでない人も、友達や家族と一緒に旅をしたり、イースターエッグの交換をしたり、また、シナモンとレーズン入りのおいしい十字架型の菓子パン（ホットクロスパン）を食べたりしてこの時期を過ごします。



母国ニュージーランドと違って、近所の店には山積みのチョコレートエッグはなかったもので、今年はイースターを忘れそうでした。しかしイースター・バニーは、ニュージーランドにいるわたしの友達からの郵便物を利用して、とうとう遠く離れた日本にまでチョコレートエッグを運んでくれました。